FPU Press Release

福井県立大学からのお知らせ

令和７年１１月１４日

報道機関各位

問合せ先
担当部署　地域経済研究所
担当者　中島
電話（内線）0776-61-6000（6104）
メール　keiken-g@g.fpu.ac.jp

地域経済研究所　２０２５年度第５回地域経済研究フォーラム
「福井県の多文化共生：越前市の事例から」開催について

本学地域経済研究所では、「福井県の多文化共生：越前市の事例から」と題した地域経済研究フォーラムを下記のとおり開催いたします。

つきましては、当日の取材等にご配慮いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

１　日　時　令和７年12月５日（金）13：30～16：00（受付開始13：00）

２　場　所　福井県立大学地域経済研究所　１階企業交流室（対面のみ）
〒910-1195 福井県永平寺町松岡兼定島 4-1-1

３　内　容　添付資料チラシを参照ください。

４　問合せ先　福井県立大学 地域経済研究所事務局
電　話　0776-61-6000（内線 6104）　FAX　0776-61-6017
メール　keiken-g@g.fpu.ac.jp
ＨＰアドレス　https://rire.fpu.ac.jp/forum/1240

福井県立大学
Fukui Prefectural University

福井県立大学地域経済研究所
2025 年度　第 5 回「地域経済研究フォーラム」

福井県の多文化共生：越前市の事例から

日時: 2025 年 12 月 05 日（金）
13:30-16:00 （受付開始 13:00）

会場: 福井県立大学地域経済研究所
1 階企業交流室（対面のみ）

2021 年に福井県では「ふくい多文化共生推進プラン」が策定され、“日本人・外国人ともに住み続けたいと思える福井”を掲げています。その県内でも越前市は、外国人居住者が総人口の 6%にのぼる県内の多文化共生の取組の先進地域であり、2019 年の越前市多文化共生推進プラン策定以来、“いろいろな国の人たちがお互い認め合い・支えあい、郷土への愛着をもってともに作り上げる住みよいまち”を目指し、様々な取組みが行われてきました。今回のセミナーでは、「日本の外国人労働者の実情」と「民間主導の社会福祉実践」に関する講演の後、多文化共生の地域づくりに私たち一人一人がどのように関与できるのか、一緒に対話しましょう。

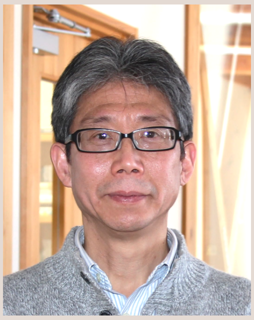
受講料無料 ■会場定員 30 名 ※申し込み多数の場合は先着順とします。 ただし事前登録が必要です。下記 URL もしくは QR コードへアクセスし、お申込ください。申込締め切りは 11/27（木）
https://forms.gle/mAtbEiVkbNQjksP79

【お問合わせ】福井県立大学地域経済研究所事務局
（担当 中島）
TEL.0776-61-6000（内線 6104）
Fax: 0776-61-6017
e-mail: keiken-g@g.fpu.ac.jp

第 1 講演
「福井と日本における外国人の今とこれから～人口学による考察と問題提起」
講師：佐々井司
福井県立大学　地域経済研究所　教授

第 2 講演
「地域共生の実現に向けたこども食堂の実践 -越前市みんなの食堂 10 年間の歩み」
講師：永井裕子
福井県立大学　看護福祉学部社会福祉学科　准教授

コメンテーター：石丸香苗（福井県立大学　副学長（学生支援ダイバーシティ推進担当）・共通教育センター　教授）
司会者：滋閒アンドレア（福井県立大学　地域経済研究所　教授）



佐々井 司、人口学・社会保障制度の専門家。地域別の人口変動や社会的背景の研究を重ね、外国人住民の動態分析を通じて政策提言を行う。主な実績に『人口減少社会・日本のこれから』『人口減少に自治体はどう向き合うか』（共著、2024 年、地方行政調査会）

永井裕子、地域福祉と住民参加型のまちづくりを専門とし、越前市の「みんなの食堂」など、県内の実践を中心に研究。主な実績：「ボランティア活動参加と社会問題への関心—福井市で実施したアンケート調査のデータ分析から」『ふくい地域経済研究』（共著、2024 年、福井県立大学）

プログラム：
13:30 – 13:45 開会挨拶（松原宏所長）
13:45 – 14:15 第 1 講演
14:15 – 14:45 第 2 講演
14:45 – 15:00 休憩
15:00 – 16:00 ディスカッション・質疑応答・閉会